

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名: レジプライマー T
製品種類: 塗料
使用上の制限: 業務用
会社名: シーカ・ジャパン株式会社
住所: 東京都港区元赤坂 1 丁目 2 番 7 号 赤坂 K タワー 7F
電話: 03-6434-7291
緊急連絡先電話: Sikaテクニカルセンター 047-436-0811
SDS No.:

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素
GHS分類
物理化学的危険性
引火性液体: 区分 2
健康に対する有害性
急性毒性(経口): 区分に該当しない
急性毒性(経皮): 区分に該当しない
急性毒性(吸入): 区分 4
皮膚腐食性/刺激性: 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2B
呼吸器感作性: 分類できない
皮膚感作性: 区分に該当しない
生殖細胞変異原性: 区分に該当しない
発がん性: 分類できない
生殖毒性: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露): 分類できない
誤えん有害性: 分類できない
環境有害性
水生環境有害性 短期(急性): 区分 3
水生環境有害性 長期(慢性): 区分に該当しない
オゾン層への有害性: 分類できない



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気
吸入すると有害
眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
水生生物に有害

注意書き

安全対策

取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面などの個人用保護具を着用する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。ー禁煙。
容器を接地する/アースをとる。
静電気放電に対する予防措置を講ずる。火災を発生しない工具を使用する。
取扱い後は手洗い・うがいをする。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。
環境への放出を避ける。
容器は密閉しておく。

応急措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。
皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受ける。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。
漏出物を回収する。

保管

施錠して保管する。
直射日光、凍結を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物

化学名 :データなし

成分名	含有量(%)	CAS No.
ウレタンプレポリマー	15-25	データなし
酢酸エチル	45-55	141-78-6
酢酸ブチル	25-35	123-86-4

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合、及び気分が悪い時は、直ちに医師に連絡し、手当て・診断を受ける。

皮膚(又は髪)に付着した場合

汚染された衣類を脱ぐこと。汚染された作業衣は再使用する前に洗濯すること。
多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激があれば医師の診断・手当てを受けること。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪い時は、医師の手当て・診断を受けること。

被災者に意識がない場合は口から何も与えてはならない。
最も重要な徴候及び症状
吸入; 咽頭痛、咳、めまい、頭痛
皮膚; 発赤、皮膚の乾燥
眼; 充血、痛み
経口摂取; 吐き気
応急措置をする者の保護
適切な保護具(保護メガネ、保護マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤
粉末ドライケミカル、炭酸ガス、泡消火剤、乾燥砂、大量の噴霧水
不適切な消火剤
棒状水
特有の危険有害性
加熱により容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
極めて燃え易い、熱、火花、火災で容易に発火する。
引火性の高い液体及び蒸気。
特有の消火方法
粉末ドライケミカル又は炭酸ガスで初期消火にあたる。
火災が広がった時は大量の噴霧水で消火する。
消火活動は可能な限り風上から行う。
着火していないドラム設備などに放水し、延焼・加熱防止や破裂の防止に努める。
消火を行う者の保護
消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
環境に対する注意事項
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
漏出物を密閉できる空容器に回収する。
衝撃、静電気により火花が発生しない装置、材質の用具を用いる。
回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材
少量の場合には乾燥砂、土、おがくず、ウェスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
大量の場合にはこぼれた液が広がらないように、砂、土、おがくず等で囲う。
出来るだけ液体を容器に回収する。
回収容器は密閉してはならない。
回収できなかったものは中和、又は上記の方法で除去する。
中和剤の例 水／炭酸ナトリウム／液体洗剤＝90～95／5～10／0.2～2(重量比)
二次災害の防止策
すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないよう、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
取扱後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

(火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。ー禁煙。
火花を発生させない工具を使用する。
静電気放電に対する予防措置を講ずる。
容器には、空になった後も蒸気が残っている。空又は空に近い容器を切断、穴あけ、溶接などの処置をしてはならない。

局所排気、全体換気

屋外または換気のよい場所でのみ取り扱う。

注意事項

加熱してはならない。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護面を着用する。
取り扱う前にすべての安全注意を読み理解する。
過去にアレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。
接触回避:使用するまで密閉しておく。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

施錠して保管する。
直射日光、凍結を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。
保証期限を過ぎた製品は速やかに廃棄する。

避けるべき保管条件

直射日光が当たる場所。屋根がない場所。高温になる場所、およびその隣接した場所。
開封状態での保管。

配合禁忌

消防法で定める混載禁止物質との同一保管は禁止。
セットで販売している化学物質以外との配合は禁止。

容器包装材料

他の容器に移し替えてはならない。

8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

(酢酸エチル) 200ppm
(酢酸ブチル) 150ppm

許容濃度

(酢酸エチル) 日本産業衛生学会(2019年版) 200ppm; 720mg/m³
(酢酸エチル) ACGIH(2019年版) 200ppm; 1440mg/m³ (TLV-TWA)
(酢酸ブチル) 日本産業衛生学会(2014年版) 100ppm
(酢酸ブチル) ACGIH(2009年版) 150ppm(TLV-TWA)、200ppm(STEL)

設備対策

労働衛生法上の規制に従って、可能な場合には、換気設備などの施設上の技術的な対策を講じて作業者を保護しなければならない。取扱い場所の近くにシャワー・手洗い・洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

着用すべき手袋の材質:不浸透性の耐油性手袋(アクリロニトリル、ブチルゴム、ネオプレン系)

眼の保護具

保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱い後は、良く手洗いうがいをする。

この製品を使用するときには、飲食又は喫煙をしてはならない。

汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 無色～淡黄色

臭い : 特異臭

融点/凝固点 : データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし

可燃性 : データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし

引火点 : -4℃(セタ密閉式)

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

pH : 該当しない

粘度 : データなし

動粘性率 : <10mm²/s

溶解度

水に対する溶解度 : 水と反応する

トルエン、アセトン、酢酸エチル等の有機溶剤に可溶

n-オクタノール/水分配係数 : データなし

蒸気圧 : データなし

密度及び/又は相対密度 : 0.95g/cm³ (25℃)

相対ガス密度(空気=1) : データなし

粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の条件下では安定である。

危険有害反応可能性

酸化剤、酸、アルコール、アミン、塩基と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす可能性がある。

水と反応して炭酸ガスを発生する。

避けるべき条件

水、湿気、高温の物体、火花、裸火、静電気火花

混触危険物質

酸化剤、酸、アルコール、アミン、塩基、水

危険有害な分解生成物

燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素などを発生する。

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

経口毒性成分データ

LD50 >2000mg/kg(計算値) 区分に該当しない

(酢酸エチル) ラット LD50 5,600mg/kg 区分に該当しない

(酢酸ブチル) ラット LD50 >3,200mg/kg 区分に該当しない

経皮毒性成分データ

LD50 >2000mg/kg(計算値) 区分に該当しない

(酢酸エチル) ラビット LD50 >18,000mg/kg 区分に該当しない

(酢酸ブチル) ウサギ LD50 >5,000mg/kg 区分に該当しない

吸入(蒸気)毒性成分データ

LC50 >14,640ppm/4hr 区分4

(酢酸エチル) ラット LC50 14,640ppm/4hr 区分4

(酢酸ブチル) データなし 分類できない

局所効果

皮膚腐食性・刺激性 :データなし

眼に対する重篤な損傷・刺激性

眼損傷性/刺激性成分データ

区分2B

(酢酸エチル) 区分2B

ラビットー過性の刺激性, 7日までに全ての反応は消失(ECETOC TR48, 1998)

(酢酸ブチル) 区分2B

ウサギの眼に本物質0.1 mL を適用した結果、軽度から中等度の虹彩炎がみられたが48時間後には回復した(SIDS(2009))

感作性 :データなし

生殖細胞変異原性 :データなし

催奇形性 :データなし

発がん性 :データなし

生殖毒性 :データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性 単回ばく露成分データ

(酢酸エチル) 区分3 (気道刺激性、麻酔作用)

(酢酸ブチル) 区分3 (気道刺激性、麻酔作用)

誤えん有害性 :データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生環境有害性(急性) 区分3

水生環境有害性(長期間) 区分に該当しない

水生毒性 成分データ

(酢酸エチル) 魚類(ファットヘッドミノー) LC50=230mg/L/96hr (環境省リスク評価第10巻, 2012)

(酢酸エチル) 甲殻類(ミジンコ) EC50=262 mg/L/48hr (環境省リスク評価第10巻, 2012)

(酢酸ブチル) 魚類(ファットヘッドミノー)での96時間LC50 = 18 mg/L(CICAD 64, 2005)

水溶解度 :データなし

残留性・分解性

(酢酸エチル) 甲殻類(オオミジンコ) NOEC=2.4mg/L/21days (ECETOC TR91, 2003)

(酢酸ブチル) 急速分解性あり(BODによる分解度:98%, SIDS, 2009)

生体蓄積性

(酢酸エチル) log Pow=0.73 (ICSC, 2014)

(酢酸ブチル) log Pow=1.78 (PHYSPROP DB, 2009)

土壤中の移動性 :データなし

オゾン層破壊物質 :データなし

その他情報

その他の環境有害性情報 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与えるおそれがあるので取り扱いに注意する。

特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

廃棄においては、関係法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

容器の処理は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 :1263

クラス :3

正式品名 :塗料又は塗料関連物質

指針番号 :129

輸送の特定の安全対策及び条件

容器の破損、内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。火気厳禁。

陸上輸送 :消防法、労働安全衛生法の輸送について定めるところに従う。

海上輸送 :船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 :航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

該当する化学品を意図的成分として含有せず、購入原料に不純物として含有するとの情報を受けていません。

労働安全衛生法

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物（平成26年6月1日以前）

酢酸エチル; 酢酸ブチル

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物（平成26年6月1日施行分より）

酢酸エチル; 酢酸ブチル

施行令18条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物

酢酸エチル; 酢酸ブチル

別表第1 危険物（第1条、第6条、第15条関係）

危険物・引火性の物

特定化学物質障害予防規則

該当しない

有機溶剤中毒予防規則 第2種有機溶剤

酢酸エチル; 酢酸ブチル

化学物質管理促進(PRTR)法

該当しない

消防法

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II

船舶安全法

製品名: レジプライマー T

SDS No. :

改訂日:2023.04.01

引火性液体類／酢酸エチル、酢酸ブチル(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)

航空法

引火性液体／酢酸エチル、酢酸ブチル(危規則第194条危険物告示別表第1)

海洋汚染防止法

有害液体物質(混合物)

16. その他の情報

参考文献

JIS Z 7252, JIS Z 7253 : 2019

Supplier's data/information

化学物質総合情報提供システム(独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE)

責任の限定について

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、化学品の含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。

注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上